ID[注1]	221106	公開ﾚﾍﾞﾙ[注1]	C	保管形式[注1]	電子	保管場所[注1]		前回ID	

報告書名称/調査名称	令和3年度　白神山地ニホンジカ対策検討業務	発行年月/報告年月	2022年 2月
		資料形式[注2]	その他

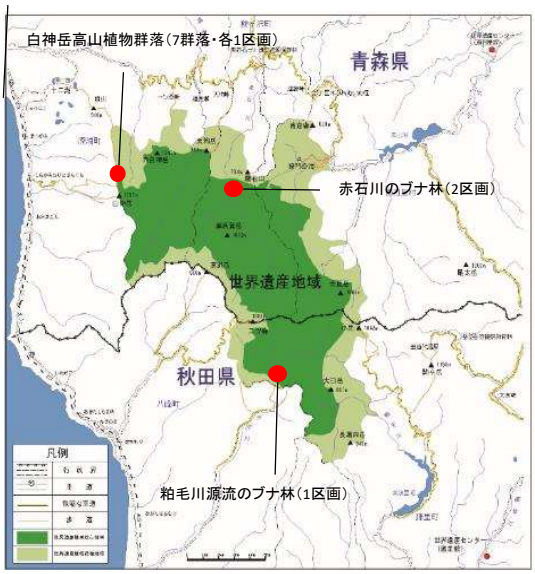
調査機関	東北地方環境事務所	委託機関	株式会社　地域環境計画

調査開始年	2015年 4月	調査期間	2021年 6月	～	2021年 11月		
調査頻度[注2]	毎年 — —	調査時期[注2]	通年 — —				
ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ計画	2017年3月　改訂	区分[注2]	ⅡB	大区分[注2]	2	小区分[注2]	(3)

調査箇所・範囲[注3]

☑ 核心地域　☑ 緩衝地域　☑ 周辺地域

☐ GPS等の位置データあり



※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

調査手法

≪これまでに実施した調査項目及び調査方法≫
【ライトセンサス】（2016～2018年）
　夜間、車両にて低速で進みながらスポットライトを照射し、ニホンジカを捜索した。
【ポイストラップ調査】（2018～2021年）
　9～11月の夕方から朝にかけて、録音機を用いて音声データを取得し、ニホンジカの鳴声の有無を確認した。
【越冬適地解析】（2019年）
　他地域のニホンジカ出現状況を参考に白神山地における越冬適地マップを作成した。
【ルートセンサス調査】（2020～2021年）
　100～200m程度の固定区間を踏査し、シカ類の食痕の有無を確認した。
【スポットセンサス調査】（2020～2021年）
　特定植物群落等について植生調査を行い、シカ類による影響の有無を確認した。

≪2021年の実施内容≫
【スポットセンサスの試行】
　今後のスポットセンサス手法を確立するため、以下の植物群落についてモニタリング調査を試行した。各群落について植生調査を実施するとともに、シカ類による食痕の有無について確認を行った。

●白神岳高山植物群落（トウゲブキ群落・イワノガリヤス群落・ミネヤナギ群落・ハイマツ群落・イワキンバイ群落・コケモモ群落・ダケカンバ群落）、白神岳のセンジュガンピ群落、赤石川のブナ林、粕毛川源流のブナ林

●調査区画は群落について1箇所（赤石川のブナ林については2箇所）設定した。

※この他にニホンジカ対策として以下の調査を実施した。
【ポイストラップ調査】（環境省職員実行）
【ルートセンサス調査】（環境省職員実行）

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

【スポットセンサスの試行】

＜白神岳高山植物群落＞
●イワノガリヤス群落及びミネヤナギ群落の２調査区画にて、イブキトラノオとゼンテイカにシカ類の食痕が確認された。
●上記以外に山頂付近の登山道沿いの9地点にてシカ類の食痕が確認された。

＜白神岳のセンジュガンピ群落＞
●エゾニュウにシカ類の食痕が確認された。

＜赤石川のブナ林＞
●10m×10mの調査区画を2箇所設定した。
●いずれの区画でもシカ類の食痕が確認された（オシダ、ヒメアオキ、トチバニンジン、オオカメノキ、ヒメモチ、ヤマソテツ）

＜粕毛川源流のブナ林＞
●10m×10mの調査区画を１箇所設定した。
●ヤマソテツにシカ類の食痕が確認された。

シカ類の食痕（ゼンテイカ）

シカ類の食痕（エゾニュウ）

東北地方環境事務所　西目屋自然保護官事務所
〒０３６-１４１１　青森県中津軽郡西目屋村大字田代字神田６１-１
TEL:０１７２－８５－２６２２　　FAX:０１７２－８５－２６３５

≪原本（データ）の帰属について≫

注1）「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
注2）ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
注3）該当する項目の□をクリックし、チェックを入れる。

【令和4年度の実施状況】

≪スポットセンサス調査≫
白神山地に係る特定植物群落及び特殊立地植物群落について、令和2年度～令和4年度の植生調査実施状況を表１に示す。
令和4年度には「令和4年度白神山地自然環境保全地域植生調査業務」及び「令和4年度滝川特定植物群落植生調査」において、合計１１群落を対象として植生調査を実施した。なお、今後、経年的な量的変化の把握が可能となるように、群落面積や対象種の株数など量的な評価を行った。
現在結果をとりまとめ中である。

表1　植生調査の実施状況（令和2年度～令和4年度）

区分	県	対照番号	特定植物群落の名称	R1 選定モニタリング対象群落※1	優先度	R2	R3	R4
特定植物群落	青森県	74	赤石川のブナ林	○	高		★2（試行）	★5
		75	白神岳高山植物群落					
			ハイマツ群落	○	低		★2（試行）	
			イワキンバイ群落	○	低		★2（試行）	
			コケモモ群落	○	低		★2（試行）	
			ダケカンバ群落	○	低		★2（試行）	
			トウゲブキ群落	○	高		★2（試行）	
			イワノガリヤス群落	○	高		★2（試行）	
			ミネヤナギ群落	○	高		★2（試行）	
		76	白神岳のネズコ-ヒバ	ー	ー			★5
		108	白神岳の露頭植物群落	○	高			
		109	白神岳の風衝草原※2	ー	ー			
		110	青鹿岳のハイマツ群落	○	低		★3	
		157	笹内川のオニシオガマの群生	ー	ー			★5
		159	白神山地のフキユキノシタの群生	○	低			★6
		171	白神山地のトガクシショウマの群生	ー	ー			★5
		172	白神山地のリシリシノブ	○	高			
		173	白神山地のアオモリマンテマ	○	高		★4	
		174	白神山地のエゾハナシノブ	○	高		★4	
		175	白神山地のシコタンソウ	○	高		★4	
		176	白神山地のミヤマアズマギク	○	高		★4	
		177	白神山地のネズコ林	○	低			★5
		178	白神山地コアニチドリ-キンコウカ群落	○	高			★5
		179	白神山地のツガルミセバヤ群落	○	高			★6
		180	白神山地のウスユキソウ群落	○	高			★6
		181	白神山地のコアニチドリ群落	○	高			★6
		182	白神山地のユキワリソウ群落	○	高			★6
	秋田県	51	小岳のハイマツ群落	○	低			
		52	粕毛川源流のブナ林	○	高		★2（試行）	
特殊立地植物群落※3	青森県	ー	笹内川支流の双暗沢のシラガミクワガタ	○	高	★1		

※1：「令和元年度白神山地ニホンジカ対策検討業務」において選定されたモニタリング対象群落
※　　は優先度高のモニタリング対象群落を示す。
※対照番号は第2回～第5回自然環境保全基礎調査特定植物群落調査（環境省）における対照番号を示す。
※第5回特定植物群落調査で消失が確認された「吉ヶ峰のツガルフジの群生」は除外した。
※2：109白神岳の風衝草原：「平成23年度白神山地自然環境保全地域植生調査業務」において、位置の誤認及び相観区分の誤称と判断し、「白神岳のセンジュガンピ群落」として植生調査を行っている。
※3：「平成23年度白神山地自然環境保全地域植生調査業務」において「特定植物群落に選定されていないもので、今後植生調査を継続して実施していくべきと判断される場所」と定義されている。
★1：令和2年度白神山地ニホンジカ対策検討業務（委託）
★2：令和3年度白神山地ニホンジカ対策検討業務（委託）
★3：令和3年度 青鹿岳ハイマツ群落（鬼の坪）植生調査（弘前大学＋環境省職員）
★4：令和3年度 静御殿植生調査（弘前大学＋環境省職員）
★5：令和4年度白神山地自然環境保全地域植生調査業務（委託）
★6：令和4年度　滝川特定植物群落植生調査（弘前大学＋環境省職員）

≪特定植物群落におけるセンサーカメラ調査≫
令和元年度にシカ類の食痕がみられた「171　白神山地のトガクシショウマの群生」において1台、令和3年度にシカ類の食痕がみられた「75　白神岳高山植物群落」において4台のセンサーカメラを設置し、シカ類の侵入について調査を実施した。
【設置期間】
171　白神山地のトガクシショウマの群生：7月29日～10月18日
75　白神岳高山植物群落　：7月25日～9月21日
現在、解析中である。